

研究活動

私は現在、シドニー大学の応用言語学修士課程にて、日本における難民のディスコース分析と日本語教育について研究しています。前者は、政府やメディアがどのように日本にいる難民申請者を表象しているのかを調査するものであり、後者は、難民申請者を含む在日外国人にとって適切な日本語教育の在り方を検討するものです。



日本では、2025年5月に政府から「国民の安全・安心のための不法滞在者ゼロプラン」が発表され、「ルールを守らない外国人」の国外退去を促進する政策が施行されました¹。また、同年7月の参議院選挙において、外国人規制の強化を積極的に訴えた参政党が多くの議席を獲得しました²。このように、世論が外国人排斥へと傾倒しつつある中で、日本の難民受け入れ数の少なさを踏まえると、難民申請者に対する世論は政府やメディアの報道に大きく影響されやすいと言えます³。この点において、私の研究では、政府やメディアが

難民申請者について語る際に生み出すテキストを分析し、それらにどのような作り手の意図や思想が組み込まれているのかを明らかにすることで、難民申請者に対する正しい理解の促進を目指しています。また、国際交流基金が実施する日本語能力テストを批判的に分析するとともに、独自の日本語テストを作成することを通して、難民申請者を含む在日外国人の支えとなる日本語教育の在り方についても研究しています。

シドニー大学は、Systemic Functional Linguistics (SFL) と呼ばれる言語学の分野で世界的に有名です。SFL は、実際に選択された言語表現と他に選択され得た表現の対比を通じて、言語が社会的文脈の中でどのように意味を構築・機能しているのかを明らかにするものです。私は、この理論を用いることで、これまで十分に取り入れられてこなかった言語学の視点から、前述した研究課題に取り組んでいます。

日本の難民問題、そしてその先にある多文化共生を考える中で、オーストラリアでは2025年12月14日、ボンダイビーチにて16人が死亡する反ユダヤ主義的な銃撃事件が発生しました⁴。The

¹ 出入国管理局庁 (2025) 「『国民の安全・安心のための不法滞在者ゼロプラン』について」
https://www.moj.go.jp/isa/policies/others/05_001390.html

² 東京新聞 (2025) 「『排外主義』が日本の新たな政治課題に一参院選で相次いだ『外国人規制』の訴え、反対の声も高まったが…」
<https://www.tokyo-np.co.jp/article/422553>

³ 藤巻秀樹 (2019) 「メディアの機能と影響—治安と安全保障、彼らは負担か資源か」 小泉康一 (編) 『「難民」をどう捉えるか—難民・強制移動研究の理論と方法』、pp. 261-276、慶應義塾大学出版会。

⁴ Hall, R., Farrer, M., & Kolovos, B. (2025). Holocaust survivor, London-born rabbi and 10-year-old girl among those killed in Bondi attack. *The Guardian*. Retrieved December 29th, 2025, from <https://www.theguardian.com/australia-news/2025/dec/15/what-we-know-about-the-victims-of-the-bondi-bombing>

Racial Discrimination Act (人種差別禁止法)⁵をはじめとする多文化主義政策が整備されているオーストラリアで、なぜこのような事件が発生してしまったのか。私は、この出来事から何を学び、それをどのように日本社会へ還元するのか。研究活動にとどまらず、このような問いについても日々考え続けています。

埼玉親善大使の活動

私は現在、シドニー大学の日本文化交流団体「WASABI」にて、現地学生の日本語学習を支援する活動に従事しています。WASABIは、日本文化の普及と日本語学習の支援を主な目的として運営されている団体であり、主催行事の一つである「日本語ワークショップ」では、現地学生が日本語学習のために週に一度教室に集まり、日本語母語話者を中心とした「日本語ファシリテーター」による学習支援が行われています。私は、2025年8月から学期終了の11月まで、日本語



語ファシリテーターとして現地学生と交流を深めるとともに、埼玉県のPRに努めました。

本行事に参加する学生の多くは、日本食やアニメ、J-POPなどの日本文化をきっかけに、日本語学習を始めています。彼らに日本語を教える中で、「日本のどこに住んでいるのですか」や「日本を観光するなら、どこがおすすめですか」といった質問を受けることがありました。その際には、埼玉県ならではの観光地やご当地グルメを紹介するように心がけました。

特に力を入れて紹介したものは、さいたまご当地グルメである「豆腐ラーメン」です。

私は、このラーメンを世界で最も美味しいラーメンであると信じているため、このラーメンを食べることなく日本のラーメンについて語っている学習者を中心に、豆腐ラーメンの最強さについて熱弁しました。豆腐ラーメンは、コシのある麺を醤油味のさっぱりとしたスープに合わせ、豆腐や挽肉の餡かけ、ネギ、ワカメを具材としたラーメンです⁶。比較的ヘルシーでありながら、大盛にせずとも成人男性が十分に満足できるボリュームがあります。それでいて、価格はなんと700円。この世に、豆腐ラーメンに勝てるラーメンは存在しません。

豆腐ラーメンの認知度向上に貢献することで、かつて発売されていた豆腐ラーメンのカップ麺版の復活を夢見ながら、今後も豆腐ラーメンをはじめ、まだ十分に知られていない埼玉県の魅力を積極的に発信していきたいと考えています。改めまして、オーストラリアにおける生活には多額の費用がかかりますが、「埼玉発世界行き」奨学金のおかげで、充実した学びを享受することができています。本奨学金をご支援・ご運営くださっているすべての関係者の皆様に対して、ここに謹んで深く御礼申し上げます。

⁵ Australian Government. (1975). Racial Discrimination Act 1975. *Federal Register of Legislation*. Retrieved December 29th, 2025, from <https://www.legislation.gov.au/C2004A00274/latest/text>

⁶ VISIT SAITAMA CITY 「豆腐ラーメン」 Retrieved December 30th, 2025, from <https://visitsaitamacity.jp/gourmets/4>